

研究課題名	入院前支援業務における薬剤師介入効果の検証
研究期間	実施許可日 ~2027年 3月 31日
研究の対象	2016年4月1日~2026年3月31日の期間に、広島大学病院に入院し、薬剤の休薬が必要とされる処置・検査・手術が予定および施行された患者さん
研究の目的・方法	入院において処置・検査・手術などの前の休薬指示の確認に関連した薬剤師の介入や業務におけるプロトコールに基づく薬物治療管理（Protocol Based Pharmacotherapy Management：以下、PBPM）の導入がもたらす効果の検証を目的とします。この研究によって、薬剤師の介入やPBPMが医療安全などに貢献すると証明されることが期待されます。
研究に用いる試料・情報の種類	この研究は、診療録（カルテ）とプレアボイド・インシデント報告および診療報酬データ費用情報を調査して行います。カルテから使用する内容は：患者プロフィール（年齢、性別）、診療科、入院病棟、既往歴、現病歴・治療歴、薬歴、アレルギー・副作用歴、ADL、認知症/せん妄リスクスコア、薬剤投与状況・投与日数、手術歴、かかりつけ病院や診療所及び薬局、使用している一般用医薬品・サプリメント・健康食品、服薬状況・投与経路・調剤方法、入院の契機、手術内容、入院日数、患者転帰、手術・処置などの後の有害事象の有無、血液検査結果、バイタル（血圧、脈拍数、体温等）、血糖値、血液ガス検査結果、消化器症状、疼痛評価、出血・血栓症の兆候及び果医療従事者の介入内容など）です。（個人が特定出来る情報は転記しません。）
外部への試料・情報の提供	該当なし
利用または提供を開始する予定日	実施許可日以降
個人情報の保護	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。得られた情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにすることで、個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。
研究組織	本学の研究責任者 病院薬剤部 教授 松尾 裕彰
その他	利益相反はありません
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。

	<p>広島大学病院 薬剤部 担当者：井上 裕梨（薬剤師） 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5579</p>
--	--